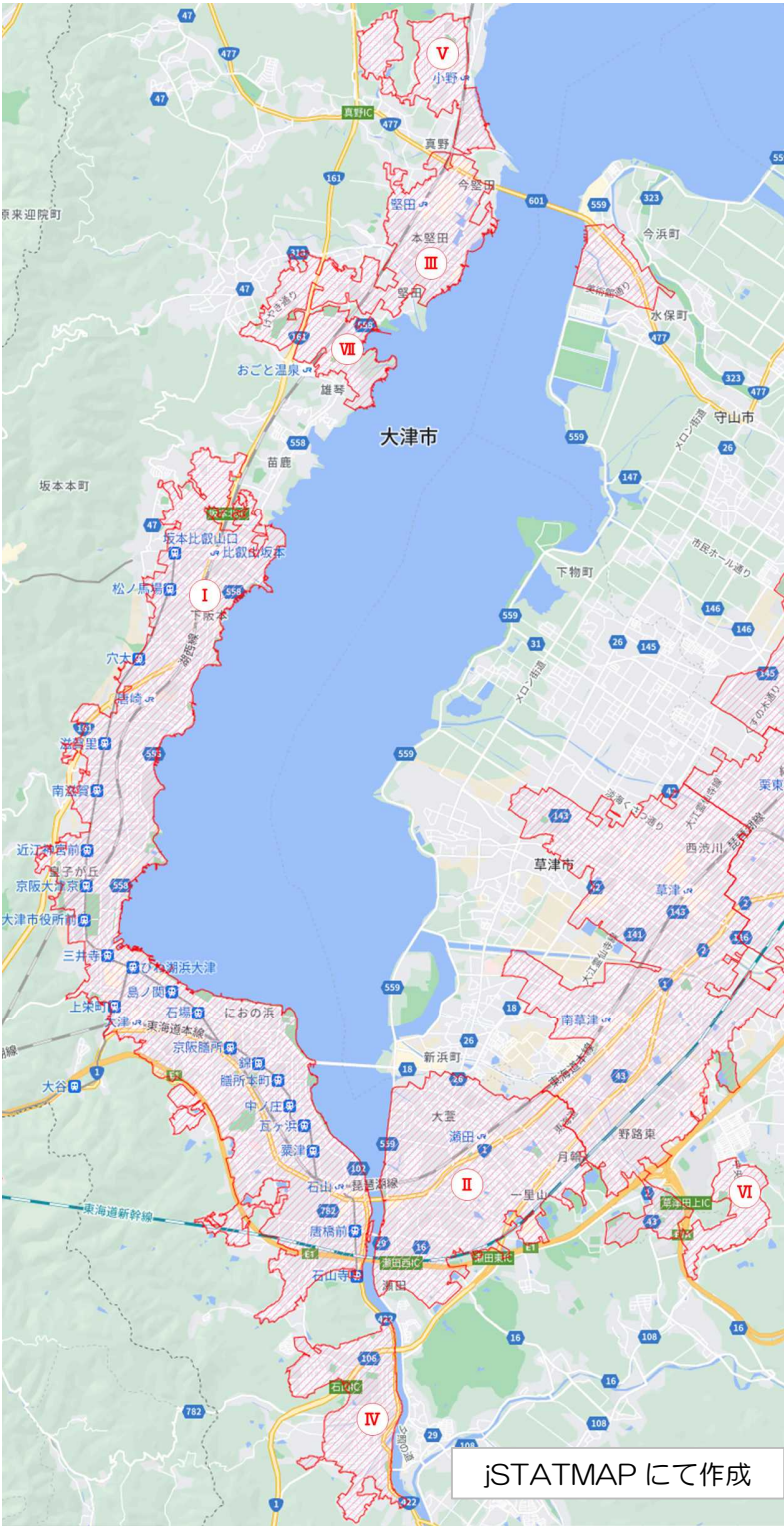


3 大津市の人口集中地区（D I D）



<令和2年内訳>

	人 口 (人)	面積 (㎡)	密度 (1㎡当たり)	対27年人口増加率 (%)
計	280,334	41,211	6,802.6	4.4
I	142,170	20,921	6,795.9	3.3
II	64,157	8,301	7,729.8	6.1
III	25,548	4,361	5,859.6	—
IV	18,868	3,081	6,126.0	1.2
V	12,938	2,101	6,161.0	—
VI	9,575	1,161	8,254.3	20.7
VII	7,078	1,281	5,529.7	14.5

<人口集中地区暦年比較>

区 分	人 口 (人)	集中地区人口 (人)	集中地区面積 (㎡)
昭和 55年	228,982	159,678	28,110
60年	250,715	172,400	29,000
平成 2年	277,290	188,784	32,220
7年	295,574	217,578	33,900
12年	309,793	232,186	35,440
17年	323,719	249,970	37,040
22年	337,634	262,946	37,680
27年	340,973	268,627	38,880
令和 2年	343,839	280,334	41,211

令和2年国勢調査「人口等基本集計」による

注) 人口集中地区（D I D）は昭和35年国勢調査ではじめて設定された。
人口集中地区の設定にあたっては次の条件を付している。
(1) 令和2年国勢調査基本単位区を基礎単位地域とする。
(2) 市区町村の境界内で人口密度の高い基本単位区（原則として人口密度が1㎡当たり4,000人以上）が隣接していること。
(3) それらの地域の人口が令和2年国勢調査時に5,000人以上を有すること。
(4) 平成27年と令和2年において旧Ⅲが分離し、その一部と旧Ⅵが合体し、新Ⅲとなる。また、新Ⅴは旧Ⅲの一部と合体し、拡大した。さらに、旧Ⅶが消滅したことに伴い、旧ⅦがⅦとなった。
そのため、ⅢとⅤについては、人口増加率は計算していない。